

お知らせ

平成15年4月21日

通信・放送機構

「JaNI」によるJGNトラフィック情報等の公開について

通信・放送機構（理事長：白井 太）は、超高速ネットワーク技術及び高度アプリケーション技術等の研究開発を目的として、研究開発用ギガビットネットワーク（JGN：Japan Gigabit Network）を構築し、平成15年度末までの間、大学、研究機関、行政機関、企業などに広く開放し、研究開発を推進しています。

これまで、通信・放送機構(TAO)の直轄研究機関である東北大学分室（プロジェクトリーダー：齊藤忠夫、サブリーダー：白鳥則郎）は、インターネット、高速ネットワークにおけるネットワーク情報をリアルタイムで収集、分析、加工、可視化して表示する世界最高精度のシステムである「JaNI」(Japan Gigabit Network Information System)を開発し、オンデマンド・リアルタイムでの情報提供、情報収集の高度化を実現可能なツールとして、JGN上で発生する運用技術の研究等に多大な成果を収めてきました。

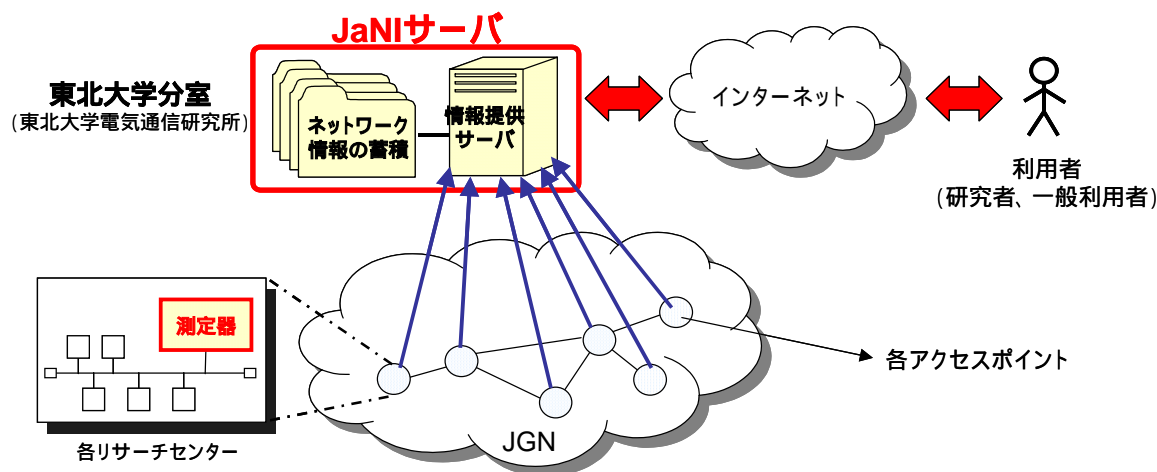
今回、研究成果展開の一環として、JaNIシステムの運用を支援する機能と、利用者からの要望が多いトラフィック統計データの閲覧を実現する機能等を充実し、一般のJGN利用者や多くの研究機関に、詳細なトラフィック情報をJGNのホームページ上から広く公開するものです。

なお、本日4月21日から「JaNI」によるJGNトラフィック情報等を公開いたします。

記

1. 概要

- ◆ 標準ネットワーク管理プロトコル(SNMP)による情報収集
- ◆ 高い時間精度の情報を収集したい場所にはHRTMプローブ(測定器)を配置
- ◆ インターネットを経由して、どこからでもネットワーク情報を得ることが可能



2. 特長

(1) オンライン遠隔システムとして**世界最高水準**の測定精度

- ・ **遠隔地**の伝送路のトラフィック状況を**ミリ秒**単位で測定

(2) リアルタイムな情報提供

- ・ **数秒の遅延時間**で最新情報の表示が可能

(3) オンデマンドでの情報提供

- ・ **必要な時**、リアルタイムに情報が得られる

(4) ユーザーフレンドリなシステム

- ・ ネットワークの**専門家でない**利用者も使える、Web/Java による分かりやすいユーザーインターフェース

3. 公開情報（イメージ図については、別紙参照）

(1) JGN 全体の一般的情報

(2) 個々のプロジェクトに関する情報

トラフィック情報（地域毎：ATM 交換機（10 箇所）、PVC, PVP 毎：接続装置（Fore ASX-1000）の全ノードに対する）

コンフィグレーション情報（PVP/PVC 番号、ポート番号等）

ネットワーク接続情報（利用している論理接続情報等）

研究プロジェクト情報（共同研究プロジェクト自体の研究分野や場所等）

4. トラフィック情報等の公開に関する留意事項

研究目的の場合に限り、個々のプロジェクトに関する情報等を閲覧することができます。閲覧を希望される方は、アカウント・パスワードが必要になりますので、『[JaNI 利用申請書](#)』を JGN ホームページからダウンロードの上、必要な事項を記載いただき、下記連絡先まで提出をお願いします。その後、TAO で申請内容を審査の上、閲覧の可否をご連絡いたします。

その他、サービス内容、利用上の留意事項等詳細については、下記 JGN ホームページを参照ください。

JGN ホームページ <http://www.jgn.tao.go.jp/>

5. 本件に関する問合せ先（連絡先）

通信・放送機構 研究推進部

調査役 河野 隆宏

主査 金谷 元嗣

TEL : 03-3769-6856

E-mail : jgncentr@shiba.tao.go.jp